

春闘北部共同集会
 3月17日18:30~
 豊島区・中池袋公園
 地域から春闘を取り組もう!

練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合
 練馬区中村北1-6-2
 東京土建練馬支部内
 電話03-3825-7146
 fax 03-3825-7117



文化の香り豊かな練馬のまちづくりをと語る古賀義弘予定候補

暮らし優先 安心の新しい練馬へ 古賀義弘さん 区長選出馬表明

嘉悦大学前学長の古賀義弘さんが2月7日、記者会見で区長選立候補を表明しました。
 古賀さんは1942年福岡県に生まれ、経済学を専攻され日本大学教授、嘉悦大学学長を務められました。日大教授時代は東京、日本の私立大学連合会の執行委員長を務められました。67年から練馬に住み、様々な住民運動に参加され、練馬区政の問題点を研究してきました。

古賀さんの記者会見で明らかにされた政策の一端を紹介します。
 今の区長の姿勢が問題、区民の声を聞かない、要望を汲み上げない、区民参加も形ばかりで、結局、方針や計画を押し付けている。
 ・区民の声をよく聞き、要望を汲み上げる。「区民が主人公」の区政運営に転換します。
 ・女性副区長を選任して女性の視点を区政に活かします。
 区民のいのちとくらしを守ることを最優先する

待機者をゼロにする、介護サービス、障がい者支援を充実させます。
 地元の商工業者と働く人たちが元気になり、希望の持てる区政を進める
 ・練馬区の税金を地元の経済をうるおす政策を進めます。
 ・賃金を守り、下請け泣かせをしないよう、区の事業契約については「公契約条例」を制定します。
 区内の失業と就労の実態を把握し、就労促進と労働条件改善を進めます。
 財政運営を大規模開発重視から、区民生活重視に転換

・昨年の保育所待機児は552人。待機児をゼロにします。
 ・医療費の窓口負担を18歳までは無料にし、70歳以上は軽減。緊急の課題として、短期保険証・資格証の発行をゼロにします。
 ・一人ぼっちのお年寄りや社会的弱者をつくらない区政に転換します。
 ・特別養護老人ホームの

・大規模開発計画は一旦中止して、区民のみならずとよく相談します。そうすれば区民のために拡充する政策の財源も作れます。
 などともろもろの政策を掲げています。

練馬労連は、1月26日、古賀義弘さんの推薦を決定しました。

新しい福祉都市・東京へ
小池あきら氏が都知事選に立候補決意
 革新都政をつくる会の要請にこたえて、前参議院議員・医師の小池あきら氏が2月9日、都知事選に立候補を表明しました。
 小池氏は「幅広い皆さんと力を合わせ、都民の閉塞感を打ち破り、都政を変えたい」「いのちと健康を守る福祉とし、東京を作りたい」と強調しました。
 医療・介護・福祉を再建する
 貧困をなくし雇用と仕事を拡大、就職支援を進める
 中小企業、地場産業、都市農業を応援し、地域経済を立て直す
 五輪招致を口実にした巨大開発や浪費をやめ、新銀行から撤退、築地市場の豊洲移転に反対し現在地でも再整備、東京外環道中止
 など、課題を提起しました。

「公契約条例の制定や、関連労働者の賃上げで、地域の賃金相場を引き上げ、暮らしを支える自治体への転換を求める運動」として、28日練馬区で要請が行われ、68人が参加し、「公契約条例制定」に向け強く要請しました。相変わらず誠意のなさを感じる練馬区への対応です。指定管理、業務委託など272施設、臨時、非常勤職員、派遣職員等加えると、約5千人が非正規労働者として働いています。働いても生活できない労働者の根絶を求めて運動を強めます

「自治体キャラバン」
68人が練馬区へ要請
 「公契約条例の制定や、関連労働者の賃上げで、地域の賃金相場を引き上げ、暮らしを支える自治体への転換を求める運動」として、28日練馬区で要請が行われ、68人が参加し、「公契約条例制定」に向け強く要請しました。相変わらず誠意のなさを感じる練馬区への対応です。指定管理、業務委託など272施設、臨時、非常勤職員、派遣職員等加えると、約5千人が非正規労働者として働いています。働いても生活できない労働者の根絶を求めて運動を強めます



練馬区への要請の参加者

要求を高く掲げ、すべての労働者の賃上げ・雇用確保を地域から音の出る、目に見える運動をつくらう！



1月27日、春闘共闘は、中野ゼロホー
ルで春闘決起集会を
開催し、1100人
の仲間が参加しまし
た。

賃金はこの10年
間で62万円も減ら
され、大学生の内定
率は68・8%と過
去最低となっていま
す。一方、大企業は
10年間で196兆
円も増大させ、44
兆円もため込んで
います。
集会では、東京医
労連、出版労連、J
MIU、千代田春闘
東京土建が決意表明
し、不当解雇撤回を
求めて闘っている日
航原告団が闘いの支
援を訴えました。

最後に、職場討議
をもとに、賃金要求
を掲げ、「全ての労

働者の賃上げで内需拡
大を」「時給1,00
0円は当たり前」「正
規雇用は当たり前」な
どの世論を上げよう。
職場を基礎に闘いを地
域に広げ、大企業の社
会的責任を徹底して追
及しよう。JALや社
会保険庁など、政府、
財界の不当な解雇を許さ
ず、早期職場復帰をめざ
す運動を大きく広げよう
との集会アピールを確認
しました。

練馬区内の組合は
1月に開催した練馬労
連の常任幹事会で、各組
合の春闘の取組みの交流
を行ないました。2月の
段階で職場集会や懇談会、
学習会を行い、要求書を
提出のための職場要求集
約を行い、2月下旬には
会社側へ要求書を提出し、
会社側との交渉を行ない
ます。



北部春闘旗びらきでの練馬の参加者

1月28日、
北部春闘共闘は、文
京区民センターで旗
びらきを行ないまし
た。練馬からは東京
芸術座の方も含めて
10人が参加しまし
た。練馬で起きてい
る問題として、千田
さんと坂西さんが参
加し、東映動画労組
の千田さんの偽装請
負による解雇事件に
ついて、また東京芸
術座は「おれはなに
わのライオンだ」鑑
賞を訴えました。

あまりにもひどい！ 今回の介護保険法改訂案

2月11日「異議あり、介護保険見直し政府案 利用者・現場の声を届けよう」をテーマに介護シンポジウムが開かれました。冷たい雪のふるなか全国から約200人が参加し熱い議論がかわされました。

厚生労働省が今国会に提出予定の介護保険法改定案には、要支援者を介護保険サービスから外すことが明らかになっています。

立教大学の柴田英昭教授が財界・政府の社会保障戦略について基調報告しました。財界が政府に圧力をかけている。社会保障を産業化するのはあってはならないこと。営利目的では生きることは守ってもらえない。と発言されました。全日本民医連の林泰則事務局長は、今回の改正案は財政事情を優先させていると批判。

会場からも多くの発言がありました。沖藤のりこさんは「介護を必要としているのは男性より女性が多い。85歳以上が特に多い。85歳以上の女性達は戦争犠牲者。戦争で苛酷な体験をしている。その方達が今の日本を支えてきた。この方たちを見捨てるような制度は心が奪われている。国は礼儀をうしなっている。」と発言しました。

また昨年11月の「介護110番」では2日間で7300本ものアクセスがあり、「介護保険料払てるのに、施設には入れない。」「介護保険料払てるのに利用の仕方が分からない。」など「保険あって介護なし」の実態の訴えが多かったそうです。

政府の改定方針の内容を多くの人に知らせ撤回させるまで声と運動を広げていくことの大切さを痛感しました。またこの問題が介護だけの問題ではなく、社会福祉全体の問題。多くの方と連携とりながら改善していくべきだと思いました。

練馬労連副議長 千田 恵美子